



女子サッカー部報告

編集
藤田夏寧・喜多野肖華(2年生)

毎日ブログ更新!最新情報はこちらで!!
<http://toin.sakura.ne.jp/>

KEEP EVOLVING to MAKE LEGEND

2014年6月26日 NO.68

2014-2015 シーズンチームスローガン: 伝説を作るために進化し続ける

～平成26年度大阪高校春季サッカー大会～

6年ぶり3回目の優勝

決勝戦で大商学園を1-0で破る

平成26年度大阪高校春季サッカー大会(女子の部)決勝は5月22日J-GREEN堺で行われ大阪桐蔭高校が1-0で大商学園を破り6年ぶり3回目の優勝を果たした。この結果インターハイ出場をかけた6月21日～6月23日に京都で開催される第67回近畿高等学校サッカー選手権大会(女子の部)に出場する。

今年の参加校は20チームとなり4月27日に開幕した。大阪桐蔭高校は2回戦からの出場となりリベルテ、準々決勝柴島を破り順調に準決勝に進んだ。準決勝は追手門学院に逆転の末勝利し決勝戦に挑んだ。2008年の優勝以来常に大商学園に勝利できずタイトルを逃してきたが、今回は6年ぶりに勝つことができた。2年連続決勝戦で0-1で敗れてきただけに今回はうれしい勝利となった。

◇決勝(5月25日、J-GREEN堺グラウンド)35分ハーフ(カッコは前半のスコア)

大阪桐蔭 1-0(1-0)大商学園
【得失点】19分上西

この大会がインターハイの大阪府予選となって3回目の対戦となった。昨年、一昨年と続けて0-1で敗れる悔しい経験をしてきただけに、今年こそは勝利したいという気迫が見られた試合となった。開始からプレスをかけて大商学園に自由を与えず攻撃的に展開した。その流れの中前半19分右サイドで得たフリーキックから大商学園ゴール前の混戦を上西が頭で押し込み先制した。後半は風の影響と大商学園の反撃で守勢に回った。何度もシュートを打たれたが全員で体を張って守り、インターハイ予選となってから初めて大商学園に勝利し大阪代表となった。

◇準決勝(5月11日、大阪産業大学グラウンド)35分ハーフ

大阪桐蔭 3-2(1-2)追手門学院
【得失点】2分失点、5分呉屋(PK)、25分失点、39分呉屋、54分田中ちひろ

新人戦と同じく準決勝での対戦となった。攻撃的に入った前半だったが2分に左のコーナーキックから失点し先制された。しかしすぐさま呉屋の突破でファールをもらいPKを得た。それを冷静に呉屋が決め同点に追いついた。しかし25分には右サイドのフリーキックから⑭松村にあわされ再びリードを許した。後半5分に左サイドから呉屋が切れ込み同点にすると、19分には右サイド呉屋のクロスから中央で田中ちひろがおしこみ逆転に成功した。非常に苦しい試合だったが全員の頑張りでの勝利することができた。

◇2回戦(5月3日、鶴見商業グラウンド)35分ハーフ

大阪桐蔭 10-0(8-0)リベルテ
【得失点】1分黒田、2分呉屋、4分上西、9分呉屋、10分京井、15分田中ちひろ、19分呉屋(PK)、33分オウンゴール、40分田中ちひろ、54分村松

全国大会につながる大阪大会が緊張のなか開幕した。開始早々京井のシュートのこぼれ球を混戦の中から黒田が決め先制すると、その直後にも呉屋、上西が決め、前半で8点を叩き込んだ。後半も2点を追加した大阪桐蔭は10-0でリベルテを破り勝利した。

◇準々決勝(5月6日、南津守グラウンド)35分ハーフ

大阪桐蔭 15-0(7-0)柴島高校
【得失点】10分中山、17分呉屋、18分田中梨華、20分、21分、28分、35分呉屋、37分足立、4分田中ちひろ 44分村松、54分田中ちひろ、66分持田、68分船越、69分、70分持田

準々決勝は、合同Cを破った柴島と対戦した。試合開始直後から大阪桐蔭は果敢に柴島ゴールに迫り、前半10分呉屋のパスを受けた中山がゴールを決め先制点を奪った。その後も攻め続けた大阪桐蔭は7-0で前半を終えた。後半も攻撃的に攻めた桐蔭は持田のハットトリックなどで8点を奪い、15-0で圧勝し次の準決勝へ駒を進めた。

関西 Liga 開幕

4月13日、西日本の大学、高校のチームが参加する関西 Liga Student 2014 が始まった。この大会は西日本の高校と大学の交流と強化を目的に行われている。関西のほか関東、東北、北

信越でも行われており、今後は全国9地域に広めていきたいと考えている。関西リーガの参加チームは、Aグループ武庫川女子大学、姫路獨協大学、徳山大学、日ノ本学園高校、大商学園高校、星翔高校。Bグループは、大阪体育大学、吉備国際大学、神戸親和女子大学、大阪桐蔭高校、岡山作陽高校、京都精華高校の計12チームで、それぞれでリーグ戦を行い、8月に順位決定戦を行う。

◇第1節(4月12日、大阪体育大学グラウンド)40分ハーフ

大阪桐蔭 2-2(0-1)大阪体育大学
【得失点】36分失点、49分中山、69分田中ちひろ、72分失点

初戦は、大阪体育大学。前半36分相手に先制点を許してしまい追いかける展開となった。しかし1点を取り返せないまま前半が終わった。後半49分、持田からのコーナーキックの混戦から中山が押し込み同点にすると、69分岩根からのコーナーキックがこぼれたところを田中ちひろが決め逆転に成功した。しかし直後の72分ゴールを許してしまい試合を振り出しに戻された。その後も両者ゴールを割れず2-2で引き分けた。

◇第2節(4月20日、吉備国際大学グラウンド)40分ハーフ

大阪桐蔭 2-2(1-0)吉備国際大学
【得失点】5分呉屋、53分、61分失点、67分呉屋

2戦目は吉備国際大学と対戦した。前半5分田中ちひろがペナルティエリア内でボールをカットし呉屋にパス、それを呉屋がきっちり決め吉備国際大学から見事先制点を奪った。しかし、53分、61分に立て続けに失点してしまい逆転を許した。なんとか67分に呉屋のシュートで追いついたもののそのまま試合終了。第1戦に続き引き分けで終わった。

I・II類生との交流試合

4月28日に生駒グラウンドで、I・II類男子サッカー部と交流試合を行った。男子との試合は貴重で、男子と女子のプレーの違いなどを改めて感じることができた。また、サッカーを通じてI・II類生との交流を深めることができた。